

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

① 第34回知能ロボットコンテスト・フェスティバル2022

(ア) 開催形態 主催 ロボット競技会実行委員会

共催 仙台市教育委員会, 日本ロボット学会, 東北学院大学産学連携推進センター

(イ) 期間 令和4年6月19日(日) (令和4年度ロボコンJrは実施せず)

令和4年度は, 新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とした。

(ウ) 会場 競技会場へのアクセスURLは, <http://www.inrof.org/>より取得

(エ) 内容 「知能ロボットコンテスト」は多数の国内のロボット大会の中でも長い歴史をもち, 人為的操作のない完全自律制御ロボットによる高度な競技大会である。大学教員, 学生, 有志によるボランティアをベースにした実行委員会によって運営されている (Intelligent Robot Contest <http://www.inrof.org/irc/>)。令和4年度は実施をしなかったが, 「ロボコンJr」は小型自律走行ロボット「梵天丸」をベースにした小・中学生を対象にした競技会である。



令和4年度 第34回 知能ロボットコンテスト2022 (オンライン開催) ポスター

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

② きのこ展

(ア) 期 間 令和4年9月24日(土)～9月25日(日)

(イ) 会 場 仙台市科学館3Fエントランスホール

(ウ) 目 的

仙台近郊の野生キノコを食・毒を記して展示し、自然に親しみながら、キノコの正しい知識の普及と、毒キノコによる中毒防止に貢献することを目的とする。

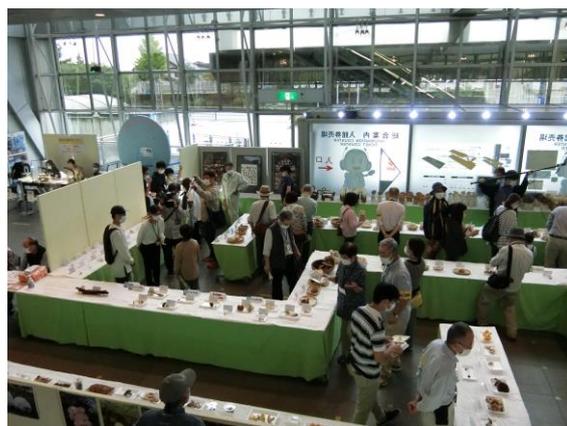
(エ) 展示内容

仙台周辺の自生のキノコ類を対象として採集した自生キノコを、科や属ごとに分類、整理して展示した。展示に関しては、キノコの鮮度を保つように常に展示の入れ替えを行った。種名・属名・科名の名札を作成し、説明を行う解説員をおいた。会場の運営にあたっては、仙台キノコ同好会の会員が常駐し、展示の説明・会場整理、キノコの鑑定にあたった。市民の関心が高いキノコの放射線値について、東北大学と協力して調査している情報を開示した。東北大学木野康志氏による放射線値に関する講演会を行った。

- ・キノコ生体の展示
- ・栽培キノコの展示
- ・キノコの鑑定会
- ・冬虫夏草コーナー
- ・キノコのVTR放映
- ・キノコ写真の展示

(オ) 実 績

天候の影響により、夏キノコと秋キノコの発生が重なったため、数多くのキノコを採集することができた。採集キノコ283種、栽培キノコ9種、計292種となり、例年よりも多い展示数となった。市民の鑑定、相談件数は54件と、持ち込みも多く寄せられた。3年ぶりの開催であったこと、猛毒のカエンタケが市内でも数多く発生し報道されたこと、きのこ展の様子がニュースで放映されたことなど影響し、2日間で2,313名と例年よりも多くの方に来場いただいた。最近の傾向として、子ども、若い家族、キノコ女子の来場者が目立つが、今年もその傾向が強まり、メモをとったり、カメラで撮影したりと、いつもより熱心に見て回る人が多かった。



会場の様子



キノコの鑑定会の様子



講演会の様子

木野教授による講演会にも、活発な質問が出され、キノコと放射能に関する情報提供が効果的に行われた。

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

③ 第3回仙台二宮杯 紙飛行機大会

(ア) 開催形態 主催 仙台紙飛行機を飛ばす会
共催 スリーエム仙台市科学館

(イ) 開催日 令和4年9月3日(土)

(ウ) 会場 シェルコム仙台

(エ) 内容 仙台市出身で紙飛行機設計の世界的権威である二宮康明氏（工学博士）の名前を冠した屋内での紙飛行機の滞空時間を競う大会。

「おえかきプレーン」部門、二宮氏設計のキット機部門、自由設計機部門の競技種目で行われた。無料の紙飛行機教室も同時開催した。

(オ) 来場者数 58人



紙飛行機教室の様子



競技の様子

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

④ チリメンモンスターを探せ！

- (ア) 開催形態 主催 東北生活文化大学短期大学部
共催 スリーエム仙台市科学館
- (イ) 開催日 令和4年10月29日(土)
- (ウ) 会場 スリーエム仙台市科学館 2階特別展示室
- (エ) 趣旨 「チリメンモンスター探し」を通じて、海の生き物、食べ物、環境などについて楽しみながら学び、生き物及び地球環境を大切にする心を育む。
- (カ) 内容 海の生き物に関するクイズ、ミニ講義、実習（チリモン探し）
- (キ) 対象 4歳以上小学4年生以下の幼児・児童とその保護者
- (ク) 参加者数 28人（幼児・児童18人、保護者10人）



ミニ講義の様子



実習の様子

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

⑤消防局連携イベント「火災を科学する 仙台市消防局×スリーエム仙台市科学館」

(ア) 開催形態 主催 仙台市消防局
共催 スリーエム仙台市科学館

(イ) 開催日 令和5年3月4日(土)

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階エントランス, 2階特別展示室, 2階第3実験室ほか

(エ) 内容 毎年, 3月1日から3月7日まで全国で一斉に「火災予防運動」が実施されることに合わせ, 仙台市消防局との共催により, スリーエム仙台市科学館において「火災と科学」をテーマに, 実験などを通して「火災の原因」について考えるイベントを開催した。そのほか, 消防車両展示や災害VR体験などをとおして, 楽しみながら防火・防災のことを学ぶ機会とした。

- ・親子実験教室 …「火のないところでも火災は起こる!？」をテーマに実験。
- ・ワークショップ…消防用ホースでストラップを作ろう!
- ・ゲームコーナー…「火災を知らせる音」を聞き分ける。
- ・消防車展示 …普段は近くで見ることができない消防車を展示。
展示車両2台(機動鑑識車, 化学消防車)
- ・消火器体験 …消火器を使えるように, 使い方の体験。
- ・災害VR体験 …VR(バーチャルリアリティ)で, 地震や津波などの災害を, 疑似体験。

(オ) 来場者数 500名



ワークショップ他(エントランス)



親子実験教室(第3実験室)



消防車展示(エントランス下部駐車場)



災害VR体験(特別展示室)

IV 事業概要

4 連携事業

(2) 学会・研究会

①第27回科学講演会 「ペットボトルロケット教室」

(ア)開催形態 主催：日本航空宇宙学会北部支部

共催：東北大学流体科学研究所 航空機計算科学センター，スリーエム仙台市科学館

後援：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

(イ)期間 令和4年8月27日(土) 13:00～16:00

(ウ)会場 スリーエム仙台市科学館 2F 特別展示室および台原森林公園

(エ)内容 一般市民，特に小中学生を対象に実技を通じて航空宇宙に関する興味と科学技術に関する関心を高めることを目的に行う講演および科学工作教室。

a) 講演会

b) ペットボトルロケット講習・製作

c) 自作したペットボトルロケットの打ち上げ

d) 表彰式

(オ) 来場者数 98人(参加児童45人、保護者等付添53人)



科学講演会「作って飛ばそう！ ぼく・わたしのロケット」の様子

IV 事業概要
4 連携事業

(3) 専門機関

「測量の日」記念 — 地図と測量のミニフェスタ —

①第34回 「測量の日」記念 — 地図と測量のミニフェスタ —

- (ア) 主催 「測量の日」東北地区事業推進団体協議会 実行委員会
国土地理院東北地方測量部 (公社) 日本測量協会東北支部
(一社) 宮城県測量設計業協会 (学法) 北杜学園仙台工科専門学校
- (イ) 共催 仙台市科学館
- (ウ) 期間 令和4年6月4日(土)
- (エ) 会場 仙台市科学館 3階 エントランスホール, 台原森林公園
- (オ) 内容
測量体験コーナー
・CAD体験 ・歩測体験・GPS体験
展示・体験コーナー
・マルチコプターの展示 ・トイ・ドローンの操縦体験
・東北地方立体地図・パネル展示 ・地図教室
- (カ) 来場者数 約300名



東北地方立体地図



GPS体験



歩測体験



トイ・ドローン操縦体験

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

① サイエンス・デイ

(ア) 開催形態 主催：特定非営利活動法人 Natural Science

(イ) 期 間 令和4年7月18日(日)
午前の部 10:00～12:00 午後の部 13:00～15:00

(ウ) 会 場 東北大学川内北キャンパス講義棟

(エ) 内 容 プログラム名「プログラミングでドローンを飛行させよう！」
ドローンを単に操縦するのではなく、スクラッチ言語でプログラミングすることで、自由にドローン飛行体験できるようにした。機体は Tello (テロ) 80g のお軽量ドローンで、保護カバーを付けたものを使用し、安全に配慮し体験できるようにした。

(オ) 対 象 小学校3年生以上で、親子10組



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

② キッズエンジニア in 東北 2022 仙台

(ア) 開催形態 主催：公益社団法人 自動車技術会東北支部 共催：スリーエム仙台市科学館

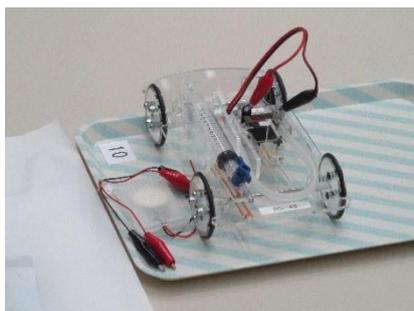
(イ) 期日 令和4年11月23日(水・祝) 9:30～16:30

(ウ) 会場 2F 特別展示室, 2F 第1・第3・第4 実験室, エントランス, 駐車場

(エ) 内容 自動車を中心とした様々な分野の科学技術や, ものづくりへの興味を高める体験型学習イベント。自動車メーカーや自動車部品メーカーのエンジニアが実践的な学びの場を提供。小学生を対象に9つの体験プログラムを実施。

(オ) プログラムおよび参加者数

	概要	参加企業	時間	参加人数
A	わくわくプログラミングスクール	日産自動車	10:30～16:30 (3回)	27人
B	バーチャル空間に町や道を作って運転しよう!	フォーラムエイト	10:30～16:30 (3回)	28人
C	君は未来の設計者 おもちゃのくるまをパソコン(3D)で作って遊んでみよう!	ソリッドワークス・ジャパン	10:30～15:00 (2回)	19人
D	塩水でクルマが走るの?自分で作って走らせよう!	日立Astemo	10:30～15:00 (2回)	39人
E	クルマとファンと、ときどきかざぐるま	自動車技術会 関東, 中部支部	当日	300人
F	ウィンドカーを作ってコースで走らせてみよう!	ヤマハ発動機	10:30～16:30 (3回)	36人
G	キッズバイクに乗って走ってみよう!	ヤマハ発動機	9:30～16:00 (4回)	23人
H	水素でクルマを走らせよう!	本田技研工業	10:30～16:00 (3回)	27人
I	大学生がつくったシミュレーターで学生フォーミュラ日本大会を体感しよう!	自技会本部	当日	150人



Ⅳ 事業概要
4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

③ 電波教室

- (ア) 開催形態 主催 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 宮城県支部
電波適正利用推進協議会 宮城県支部
共催 スリーエム仙台市科学館
- (イ) 開催日 令和4年11月5日(土)13:30～16:30
- (ウ) 会場 1F市民の理科室
- (エ) 内容 電波に関する講義およびAMラジオの製作を行う科学工作教室。
- (オ) 参加者数 10組



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

④ 仙台市地下鉄 35 周年記念 地下鉄で GO 鉄道フェスティバル in ララガーデン長町

(ア) 開催形態 主催 仙台市交通局 ララガーデン長町

協力 スリーエム仙台市科学館

(イ) 開催日時 令和 5 年 1 月 7 日 (土) ～9 日 (月) 10:00～17:00

(ウ) 会場 ララガーデン長町 1 階音のひろば

(エ) 内容 出張ワークショップとして、展示物を貸し出した。貸出物品は、岩石標本（火成岩 6 種，岩石プレパラート 2 種），科学館でくらべてみた図鑑工作キット。

(オ) 来場者数 約 2500 名

開催画像



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑤ NHK仙台 SDGsワールド in 仙台市科学館

(ア) 開催形態 主催 NHK仙台放送局

共催 スリーエム仙台市科学館

(イ) 開催日時 令和5年3月25日(土)26日(日)10:00~16:00

(ウ) 会場 仙台市科学館 2階特別展示室, 3階エントランスほか

(エ) 内容 NHK仙台放送局は, SDGsに関連したイベントを開催した。

- ・ミクロの世界へようこそ! 干潟の生きものたち 8K顕微鏡映像の展示
- ・テレビのカケラでなにつくる? NHK美術セットの廃材を使った展示
- ・草むらで昆虫を探せ! 草むらから虫を探すデジタルコンテンツ
- ・SDGsカルタ, パネル展 ほか

(オ) 来場者数 2日間計1,064名(大人535名, 子ども529名)

※25日310名(大人149名, 子ども161名)

※26日754名(大人386名, 子ども368名)



ミクロの世界へようこそ!



テレビのカケラでなにつくる?



忍たまパネル展



草むらで昆虫を探せ!

IV 事業概要

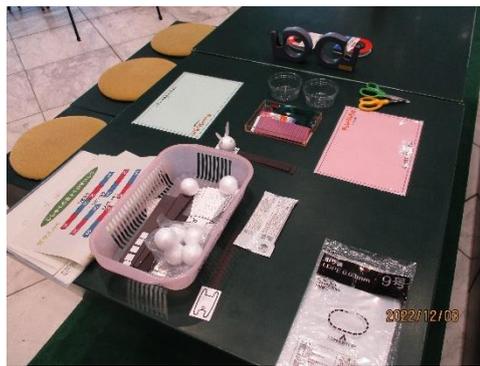
4 連携事業

(5) SMMA連携事業

① SMMAミュージアムユニバース 2022

- (ア) 主催 SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）
- (イ) 期間 令和4年12月3日(土)10:00~16:00
- (ウ) 会場 せんだいメディアテーク1階
- (エ) 内容 仙台・宮城のミュージアムがメディアテークに集合し、ワークショップや展示などを行い、ミュージアムの魅力や情報を発信するイベントを行った。
- 当館では、「展示の広場」においては、東日本大震災以降蒲生干潟で行っている植物や地形等の継続調査について、レポートと映像で紹介した。また、「体験の広場」においては、「ぴよんぴよんうさぎをつくろう」の製作を行った。子供から大人まで、多くの幅広い世代の方が体験した。
- (オ) 参加者数 「体験の広場（ぴよんぴよんうさぎをつくろう）」 31名

<体験の広場のようす>



<展示の広場のようす>

